

## 「使用上の注意」改訂のお知らせ

2024年12月

アミノグリコシド系抗生物質製剤

日本薬局方 アミカシン硫酸塩注射液

アミカシン硫酸塩注射液 100mg<sup>〔明治〕</sup>

アミカシン硫酸塩注射液 200mg<sup>〔明治〕</sup>

Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2-4-16

この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂致しますのでお知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しましては、最新の「電子化された添付文書」をご参照賜りますようお願い申し上げます。

### I. 改訂内容(該当部分のみ)

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 10.2 併用注意(併用に注意すること)(該当部分のみ)			10. 相互作用 10.2 併用注意(併用に注意すること)(該当部分のみ)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ループ利尿剤 フロセミド アゼセミド トラセミド 等	腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。	機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるといふ報告がある。	ループ利尿剤 フロセミド アゼセミド 等	腎障害及び聴器障害が発現、悪化するおそれがあるので、併用は避けることが望ましい。	機序は明確でないが、併用によりアミノグリコシド系抗生物質の血中濃度の上昇、腎への蓄積が起こるといふ報告がある。
麻酔剤 筋弛緩剤 ロクロニウム臭化物 A型ボツリヌス毒素製剤 等 コリスチンメタン スルホン酸ナトリウム	呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。	両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。	麻酔剤 筋弛緩剤 ベクロニウム臭化物 A型ボツリヌス毒素製剤 等	呼吸抑制があらわれるおそれがある。呼吸抑制があらわれた場合には必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。	両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。

\_\_\_\_\_ : 自主改訂による改訂箇所、 \_\_\_\_\_ : 自主改訂による削除箇所

### II. 改訂理由

#### 自主改訂

先発医薬品の電子化された添付文書における自主改訂に基づき改訂しました。

#### －お願い－

弊社医薬品にて副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、下記問い合わせ先又は弊社医薬情報担当者(MR)までご連絡の上、調査へのご協力をお願い申し上げます。

<製品に関するお問い合わせ先>

Meiji Seika ファルマ株式会社 くすり相談室 フリーダイヤル(0120)093-396 電話(03)3273-3539

PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)に、最新の電子化された添付文書が掲載されます。また、以下の GS1コードを専用アプリ「添文ナビ」で読み取ることで最新の電子化された添付文書等をご参照いただけます。



(01)14987222000205  
アミカシン硫酸塩注射液

GVAM202411